

社会科新聞 作成には自分の考えをまとめ

たり、複数のことがらや考えを比較したり関連させたりする過程が必要となる。

また、皆に見てもらおうものをつくるので、表現力も養われる。

② 資料

○ ワークシート 第4時

米の輸入自由化を考える 第4時

1. 私たちの班は 賛成 反対 どちらでもない

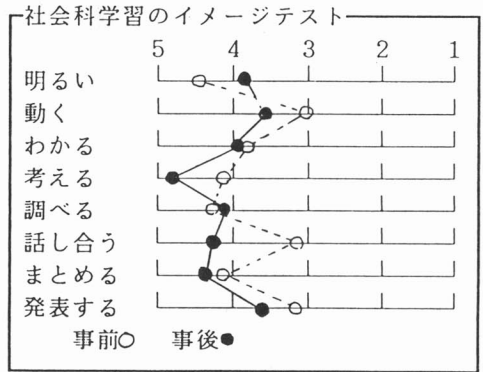
班員 遠藤元則・水野潤哉・小谷田直希
遠藤玲子・若賀有紀恵・水野みどり

理由 米を輸入すると今の日本は不景気なので外国の国が少なくて売れ残る米を置くと思うので、日本の米が売れなくなる農家の人が困るから反対!

- 2. 他の班に対していいこと
B. 米がとくに多いのは特定の地域下しか栽培していないので、米は全国各地で作っているのを、オランダやフランスのようにはいいいと思うので。
- 3. 他の班でもっともだと思うこと
F. 輸入米は農家を普通より多く使っているの全体に悪い!
G. 日本の米が売れなくなる!

○ 新聞

(5) 検証授業の結果



事前・事後の結果を比べると「考える」「話し合う」が上位に移行している。

「米の輸入自由化を考える」単元終了後の自己評価

① テーマについて興味をもって取り組んだ	4.0
② テーマに関して積極的に調べた	3.6
③ 他人の考えと自分の考えを比べ、自分の考えを改めたり見直した	4.0
④ いろいろな情報に関連させて考えた	4.1
⑤ 新聞づくりに積極的に取り組んだ	4.0
⑥ 新聞の内容を工夫した	3.3
⑦ 他人の新聞のよいところを見つけた	4.2
⑧ テーマ学習をして満足感があつた	4.4

今回の研究では⑧が高かったことが最大の成果といえる。また、③④も高いことから、授業を通して思考力を駆使することができたといえる。

5. 研究のまとめと今後の課題

一つのテーマについて調べたり、考えたり、話し合わせたりすることで、総合的な学習能力が高まると思われる。今回の研究では、思考力を高める手立てに重点を置いたが、資料を見るかぎり一応の成果があつたといえる。しかし、これは平素の授業が裏づけとして成立していることが必要であり、基礎・基本の定着があつて初めて可能であるといっても過言ではない。

今後は、情意面の評価や個に応じた課題づくり、体験学習を取り入れた授業の工夫について研究を深めたい。